

茅ヶ崎里山公園の防災対応について

○ 広域避難場所に指定されています



- ・ 2011年3月に発生した東日本大震災時には、茅ヶ崎里山公園に多くの方が避難されました。その経験を基に、行政と市民の皆様の話し合いから、本公園は2012年2月に広域避難場所となっています。
 - ・ 広域避難場所とは、「地震などによる火災が延焼拡大して地域全体が危険になったときに避難する場所」です。
 - ・ 茅ヶ崎里山公園は海拔約50メートル。
 - ・ 多目的広場は、災害時の空路からの物資受け入れ拠点並びに災害医療拠点の運用のため、大型ヘリコプターの臨時着陸場として県と市が指定しています。
- 災害時は、西駐車場に避難することができます
- ・ 災害避難の際に西駐車場を開放することとしています。
(収容台数 普通 262台(身障者用2台を含む)、大型 10台)

○ 茅ヶ崎里山公園は、各種の防災対策機能を有しています

●調整池が設置されています

中の谷池、芹沢の池、東駐車場、北駐車場は、雨水を一時的に貯めて河川への雨水の流出量を調節することにより洪水被害の発生を防止する施設となっています。このため、大雨が降った際、東駐車場、北駐車場に雨水が大量に貯水されるため、利用を停止することがあります。

●パークセンターには一時避難、災害時連絡等の機能があります



- ・ 多目的ホール約300㎡、会議室約120㎡のスペースがあり一時避難施設として活用できます。
- ・ 太陽光発電と蓄電池により、停電時でも3日間の電力を確保。
- ・ 茅ヶ崎市防災部局と連携した「防災無線」の設置。
- ・ 衛星携帯電話、茅ヶ崎市防災ラジオの設置。



防災無線



防災ラジオ



衛星携帯電話



太陽光発電

●太陽光発電式誘導灯により、パークセンターへ向かうことができます



- ・パークセンター前に、避難場所の目印として園路灯が設置されています。
- ・西駐車場からパークセンターへの誘導灯があります。

●防災備蓄用品（一時的避難用）を用意しています

- ・茅ヶ崎市役所の防災倉庫が設置されています。
- ・指定管理者である（公財）神奈川県公園協会で、独自に一時避難者等への食料等を備蓄しています。
- ・公園維持管理の発生材である薪や、イベント時で使用する大鍋等を常備しています。それらを使って災害時の炊き出し等が可能です。



茅ヶ崎市防災倉庫



備蓄資材



薪のストック

○ 災害に備え公園スタッフの訓練を行っています

- ・突然の災害等発生に迅速的確に対応するため、公園スタッフは各種訓練をおこなっています。



救命救急講習



災害訓練



災害時参集訓練